



長生村

議会だより

第135号／2011. 11. 13



議員視察

村議会9月会議

主な内容

	ページ
●定例会で決まったこと……………	2
●一般質問（8人）……………	4
●議会活動の報告……………	10
●特集 第2回議会報告会……………	11

発行／長生村議会

編集／議会だより編集委員会



村の木「ラカンマキ」



村の花「ハマヒルガオ」

村議会9月会議

平成23年9月会議を、9月13日から16日までの会期4日間で開催し、本会議では、報告2件、認定6件、同意1件、議案8件、請願1件が上程されました。

また、追加日程で監査委員の同意1件と発議案1件が上程されました。一般質問では、8人の議員が論議を交わしました。

平成22年度決算審査特別委員会を設置

平成22年度一般会計予算および5つの特別会計の決算認定議案が、監査委員の意見を付して上程されました。

会計管理者より決算案の概要説明があり、監査委員の意見書の説明が行われました。議員による総括質疑がなされ、後に決算審査特別委員会が設置され、7人の委員が決まりました。

監査委員の意見の要旨

一般会計
村税については、徴収努力は認められるが、景気の低迷により収入額が減少しています。

不納欠損額は前年度と比較し減少しているものの、

収入未済額は逆に増加しており、その大半は固定資産税の過年度繰越分によるものです。必要であれば差押えの措置を講ずるなど、収入未済額の減少に努めるよう求めます。

また、流用が多方面に見られ、多額の不用額も発生しており、的確な予算編成、事業執行に努力を求めます。

「国民健康保険特別会計」
多額の不納欠損額等が発生しており、また、収入未済額は年々増加し、過年度繰越分について徴収率が落ちていきます。更なる徴収努力を求めます。

「公共下水道事業特別会計」
分担金及び負担金の収入

未済額の解消に努め、財政調整基金も取り崩され今後資金不足が予測されるので、経営基盤の安定化を求めます。

「介護保険特別会計」
保険料収入未済額の解消と更なる事業の周知、および介護予防事業の一層の充実をはかり、経費の節減に努めるよう求めます。

「後期高齢者医療特別会計」
保険料未納者の解消に努力を求めます。

「決算審査特別委員会委員」
委員長 東間 永次
副委員長 鈴木 征男

委員 高山 昌治
委員 井下田政美
委員 増子 勇男
委員 千葉 一雅
委員 門口 昭

以上7人が選任されました。

平成22年度主要施策成果（決算審査資料から抜粋）

（単位：千円）

事業名	事業成果	事業費
防災行政無線の整備・充実事業	既存の全国瞬時警報システム（Jアラート）を国からの交付金により新システムへ改修する事業	4,101
旧長生高等技術専門校施設管理事業	旧長生高等技術専門校跡地を多目的かつ安全に活用できるよう、外周のフェンス設置工事を実施する	8,540
予防接種事業	中学1年生及び高校3年生を対象にMRワクチン接種、および75歳以上の高齢者に肺炎球菌ワクチン接種（1人1回3,000円補助）のほか、各種感染症を予防するため「予防接種」を実施 H23. 2. 3より任意ワクチンである小児用肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がんワクチン接種に全額補助	23,932
ふるさと雇用再生特別基金事業	支援員が高齢者宅を巡回訪問する高齢者見守り事業と、シルバー人材センターに指導員を配置して安全管理指導等を行うシルバー人材センター人材育成事業を実施	4,302
福祉センター省エネ改修事業	福祉センターの省エネをはかるため、グリーンニューディール基金事業県補助金を活用し、老朽化した空調設備の改修及び窓の二重サッシ化を実施	48,789
中小企業支援事業	中小企業設備改善資金の借入に対し、利子補給を実施することにより、村内企業の設備改善における負担軽減	2,284
木造住宅耐震診断費補助事業	昭和56年以前に建築された木造住宅に対する耐震診断費用の補助 ※補助率：診断費用の1/2以内で4万円を限度	40
中学校施設整備事業	中学校施設整備のため、仮設校舎の賃貸借、管理・普通教室の解体撤去、校舎の増改築工事を実施	280,443

一般会計補正予算を可決

既定予算に、歳入歳出それぞれ、2134万8千円を追加し、補正後の歳入歳出予算総額48億6517万9千円とする補正予算を可決しました。

歳入の主なものは、地方特例交付金の交付額の決定

によるものおよび、県支出金の衛生費補助金と、前年度からの繰越金などによるものです。

歳出の主なものは、新規事業として、県の補助事業を活用して行う、住宅用太陽光発電設備導入促進事業

固定資産評価審査委員の選任を同意

平成23年9月30日で任期満了となる固定資産評価審査委員として、引き続き、浅生隆氏を選任することについて同意しました。

同氏は固定資産評価審査委員を1期務め、優れた識見と人格高潔であり、同審



浅生 隆氏

査委員として適任と認められたものです

一松丙673番地

監査委員の選任を同意

平成23年9月14日、監査委員の退職による後任者に細谷基行氏を選任することについて提案され、同意しました。

細谷氏は、千葉県に奉職し土木部道路計画課長、県土整備部理事などの要職を経験され、優れた識見と人



細谷 基行氏

格高潔であり、適任と認められたものです。

一松丙1055番地

請願・意見書

への助成と、広域市町村圏組合への負担金や松潟土地改良区への補助金等です。

また、直営舗装事業費や長生第一排水機場のごみ処分委託料と、公共下水道事業への繰出金などです。

請願第5号 地方消費者行政充実のための国による支援に関する請願

請願者 千葉市中央区4-18-18 千葉県消費者行政充実ネット千葉 河野 誠

紹介議員 小高陽一

請願理由 国による地方消費者行政に対する実効的な財政措置の必要性、消費者の安心安全な生活を確保するために、消費者行政を充実させるという観点からの請願です。

請願は、全会一致で採択されました。

意見書提出発議案第8号も採択し、関係機関へ意見書送付を決めました。

9月会議の審議結果一覧表

議案等番号	件 名	議 決 結 果	
報告第6号	平成22年度長生村健全化判断比率の報告について	決算審査特別委員会に付託	
報告第7号	平成22年度長生村公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について		
認定第1号～6号	平成22年度長生村一般会計他5特別会計の決算の認定について		
同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意	全員一致
議案第34号	長生村健康づくり推進協議会設置条例制定について	原案可決	全員一致
議案第35号	長生村公告式条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全員一致
議案第36号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全員一致
議案第37号	長生村税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議案第38号	長生村体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全員一致
議案第39号	平成23年度長生村一般会計補正予算（第3号）	原案可決	全員一致
議案第40号	平成23年度長生村公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全員一致
議案第41号	平成23年度長生村介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全員一致
請願第5号	地方消費者行政充実のための国による支援に関する請願書	採 択	全員一致
	議員派遣について（詳細は10ページをご覧ください）	原案可決	全員一致
同意第3号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同 意	全員一致
発議案第8号	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書提出について	原案可決	全員一致

9月会議

一般質問

一般家庭の LED化に助成を

矢部 眞 男 議員

議員

村の施設では、
15%の節電に取

り組んできたが、昨年、一
昨年と比較してどの程度削
減効果が出たか伺います。

村長

全体的に見ます
と、平成21年と
今年で8・3%の減、平成
22年と今年で18・9%の減
となっております。

議員

一般家庭の15%
消費電力削減に
村はどのように取り組んで
きたか、また今後どのよう
な取り組み方を考えている
のか伺います。

村長

公共施設では目
標の15%以上の
消費電力削減に努めており、

一般家庭においては、今後
も村の広報紙等で、節電の
ご協力を呼びかけていく考
えです。

議員

広報紙等の呼び
かけで、十分だ
と思うか伺います。

下水環
境課長

村のホームペー
ジから、東京電
力のホームページにリンク
することができ、住民の方々
に具体的な節電の取り組み
ができるよう、今後と呼び
かけてまいります。

議員

電気料金の値上
げが見込まれる
が、村はどのような対策を
考えているのか伺います。

村長

村は、村民の模
範となるべく、
継続的に節電に努めます。
一般家庭の節電にもご協力
を呼びかける考えでありま
す。

議員

現在54基の原発
があるが、稼動
している原発は11基です。
今後、定期検査等で来年5
月には全ての原発が停止に
追い込まれる見通しです。

現在、老朽化した火力発
電所の再稼動で急場をしの
いでいる状況です。

今後、発電コストの上昇
にともない、おのずから電
気料金に転化され、値上げ
につながると思うが、村と
しての対策は考えているか
伺います。

下水環
境課長

公共施設につい
ては、引き続き
節電に努め、一般家庭にお
いては使用料のお知らせの
なかで、前年同月と比較で
きます。各家庭で節電をし
ていただくよう御協力をお
願いしてまいります。

議員

LED電球は、
省エネ効果が非
常に高いことは皆さん承知
しております。

今後、値上げが見込まれ
る電気料金に対し、住民の
負担軽減のためにも、一般
家庭のLED化に助成する
考えはないか伺います。

村長

今のところ、一
般家庭のLED
化に助成する考えはありま
せん。しかし、LED照明
は、一般家庭での省エネ効
果が高く、蛍光灯、白熱灯
に替わる照明として、期待
されております。

今後は国、県等の動向を
見ながら検討します。

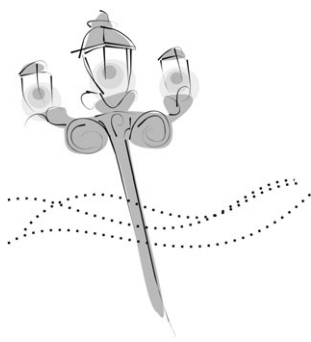
議員

日本国内の一般
家庭が、全てL
ED電球に変えた場合、原
発15基分の電力消費削減効
果があるとテレビ報道がな
されたようですが、脱原発
は夢ではないと思われます。
早急にLED化の助成を
考えていただきたいと思います。

LEDとは

「発光ダイオード」と呼ば
れる半導体のことです。

LEDはこれまでの白熱
ランプや蛍光灯・H
IDランプと異なり、半導体
結晶のなかで電気エネル
ギーが直接光に変化するし
くみを応用した光源です。



幸福の科学の土地 31haの課税検討を

関 克也 議員

議員

幸福の科学所有
地約31haについて、平成20年度に2480

万円の固定資産税収入が21年度から非課税になった。

「固定資産税課税が必要であつた場合に、正当な課税をさかのぼってできることについて村の見解を伺います。

税務課長

法定期限の翌日から起算して3年間は遡及課税できます。

議員

平成24年4月30日までに課税を決めて請求すれば平成21年度から3年間税徴収できるということか。

税務課長

その通りです。

議員

名古屋地裁（平成4年6月）の判例の中に課税する根拠があります。

固定資産税が非課税になる要件は

①もっぱら宗教本来の用に供する土地である。

②宗教目的のために必要な土地である。

③宗教法人に固有の土地であること。

3つがすべて該当しないと非課税になりません。それぞれについて、村がどう判断したのかを伺います。

税務課長

①幸福の科学が境内地として瞑想修行を行い布教上で使用されている事実が認められるので、本来の用に供している土地と判断しました。

②土地と建物の相互関係から一体的に考慮すべき範囲の土地であり、宗教に必要な土地です。

③は明確な答弁なし。

議員

判例の中心部分は非課税3要件です。宗教法人所有地31haについて見解を提起いたします。

ます。

①この土地は国政選挙の時に宣伝カーの拠点として使用されていた事実があり、宗教活動でなく選挙活動として目的外（専ら宗教の用に供していない）に使用されていました。

②平成28年に開校予定の大学等が建設され、宗教活動に不要な土地になること。

この土地がなくなるとも宗教活動が可能と見られる土地です。

③当該土地に作られた瞑想修行のためのじやり道が凸凹であり、彼らの言う修行に適さない状態で、当該宗教法人にだけ特筆されるような宗教法人と一体不可分の固有の土地とは言えないから課税できます。

課税通知を出す考えがあるかをお聞きします。

村長

課税できる使用実態が見受けられれば課税も可能です。

住宅リフォーム助成

制度の実施に向け検討

議員

来年度予算で、住宅リフォーム



助成制度の実施を求める立場から、国への交付金請求や県に同制度実施の要求などを求める考えがあるか伺います。

村長

社会資本整備総合交付金（国の補助金）は活用したい。県に対して同様の制度を要望していきます。

住宅リフォーム助成事業の実施に向けて検討していきます。

八積駅北側整備の 現状について問う

鈴木 征男 議員

東日本大震災を経験した

今日、駅北側大型開発よりも地震津波対策など福祉・防災を柱とした村づくりをしつかりやってほしいというのが村民の声です。

村が提案している、26億円北側開発は見直すべき時期にきています。

23年度に国へ申請しない

議員

平成23年度中に、八積駅周辺整備事業計画の、国への補助金申請（社会資本整備総合交付金）をするのかお聞きします。

村長

見通しが見えないため、申請する考えはありません。

議員

住民が求めているのは、現に利用している駅南側の整備、北側の排水整備、ホームと跨線橋の雨対策、自転車置き場の屋根等です。

これらを進めるのか伺います。

村長

八積駅を中心とした一体的な事業として、当面できることの検討を進めます。

見直し・修正と村長答弁

議員

村が村民に示した26億円規模の事業計画は、見直し・修正をするのかお聞きします。

今日の政治、経済情勢に応じた形で柔軟に対処しないと駅周辺の問題はいつまでも同じ問題が残ります。村長の見解を最後に伺います。

村長

今の議員の考え方や、住民の皆さんの意見などをお聞きし、国の動向を見て、これからの計画の見直し修正を含めてあり得ることです。

国の介護保険改定の問題点について問う

村は、来年4月から実施

の第5期介護保険事業計画の作成中であり、国の介護保険法の改正で、新たに制度として市町村が行う「介護予防・日常生活支援総合事業」について問題と考える事項について村の考えを問います。

サビ低下はしないと回答

議員

介護予防・日常生活支援総合事業は介護保険給付からはずされず。

「総合事業が導入されると、要支援1・要支援2と認定された村民はこれまでと同様の介護サービスが受けられるのか伺います。

健康推進課長

現在受けています介護給付はそのまま受けられ、継続できます。質問の介護予防の訪問介護や介護予防の通所介護については、そのままサービスを利用できます。

議員

介護を受ける受給権は保障されているのか伺います。

健康推進課長

保障されています。今後サビ低下にならないように

検討してゆきます。

保険料引き上げ負担限界

介護保険料の来年度からの改定の見通しについて、厚労省・村の試算でも保険料は上げざるを得ないかと答弁しています。現状では更なる介護保険料の引き上げは、高齢者にとって大きな負担となります。

議員

村の介護給付準備金が3000万円ありますが、内2000万円を取りくずせば、一人当たり年間5千円の保険料引き下げになります。村の考えはどうか伺います。

村長

その事については総合的な判断をしてまいります。



中央公民館から八積駅を望む

早期防災対策の実現に向けて

山口 裕之 議員

議員

村の防災対策の進捗状況について伺います。

村長

村が計画している津波避難計画は、東日本大震災を教訓に修正作業を実施しています。津波浸水予測図も、県が作成中です。村の津波ハザードマップもこの浸水予測図を基に作成します。

議員

村が計画している津波避難訓練の実施内容について伺います。

総務課長

10月29日（土）に千葉県東方沖で、震度6強の地震が発生したという想定を、午前10

時3分に発令する予定です。重点事項としては、避難経路の確認、八積小学校・文化会館・公民館・保健センター・福祉センター・役場などの避難場所までどのくらいの人々が何分くらいで避難できたか、誘導がきちんとしてきたか、多様な検証をしたいと考えています。

議員

村内の避難所等の点検整備の状況について伺います。

村長

村の水準点や建築物の標高を調査し、一時避難所として指定します。特に津波浸水が想定される一松小学校は、屋上へ避難できるよう階段の設置も進めています。また、防災倉庫も、足りない資機材や食料品等の備蓄を整備しています。

議員

大災害時における自治体間との協力連携体制の確立に向けた協議がされたか伺います。

村長

千葉県消防危機管理課を中心とした災害等の検討会や、近隣市町との協議を開催し、協力体制の強化に努めています。

議員

近い将来、大規模な災害を想定し、近隣自治体と連携した大規模訓練について、以前に質問しましたが、それについて伺います。

総務課長

一宮・長生・白子と合同の訓練は必要であると考えています。今、県にも要望していますが、沿岸地域でどう避難訓練を立ち上げていくのか順次計画をしています。

議員

住民の防災に対するさらなる危機管理の向上を目的とした写真展や、被災者の体験を聞く講演会を開催することもあると思いますが、村の考えを伺います。

村長

いろいろ検討し、実現できるよつになればと思います。

山口議員から他にこのような質問がありました

◇行財政改革について

◇第5次総合計画
チャレンジプログラム
の実践について

千葉県電子調達 システムの運用を

井下田政美 議員

議員

千葉県では、自治体クラウド化を電子申請・調達システムを運用していますが、どのようなシステムなのか、伺います。

企画財政課長

加入運営している団体において、行政上の手続きがインターネットでも行なえるものです。

議員

現在、県内市町のはほとんどが運用開始しています。本村においては、費用対効果を検証し見送ったとの事ですが、何年頃希望調査があったのか伺います。

企画財政課長

平成22年3月にありました。村の年間契約数と指名参加願数を伺います。

総務課長

入札については、22年度54件です。指名参加登録業者は1033社です。

議員

本村では、1033社分の書類を職員の目で一つ一つ確認してきた事になります。しかし県の調達システムを共同運用すると、全てシステムが代行に行ってくれる。すでに運用開始している一宮町によると、事務事業の削減等経費削減になったとの事です。運用を検討しないのか伺います。

企画財政課長

前向きに検討した方がいいと考えます。

ピロリ菌検査の導入を

議員

国際ガン研究機関IARCは、胃がんはピロリ菌が発がん因子である、と認定しています。

村で実施されている胃がん検査の方法を伺います。

健康推進課長

検診車による胃のエックス線検査を行っています。

議員

胃がん検診の受診率と、胃がんの発見率を伺います。

健康推進課長

平成18年から平成22年の過去5年間の平均受診率は、63.4%で、平成19年が最も高く69.6%、平成22年は58.6%まで減少しており、5年間にがんが見つかった方は19人です。

議員

NPO法人日本胃がん予知診断治療研究機構では、ABC検査を推進していますが、どのような検査か伺います。

健康推進課長

ABC検査とは、胃の健康度を調べる検査とピロリ菌の有無を調べる血液検査です。検査結果によりABCの分類に分け、A群は5年に一回の検診、B群は精密検査を行い問題が無ければ、2年から3年に一回の検診、C群は精密検査を行い、毎年検診を実施する方法です。

議員

エックス線検査の一人あたりの費用はどの位かかるのか伺います。

健康推進課長

胃のエックス線検査の一人当たりの委託料は4280円です。

議員

ピロリ菌検査は採血により他の検査と併せて行なう事ができ、バリウムを飲む事もありません。また、受診率の向上にも有効と考えられます。そして検査費用も3000円前後でエックス線より安価です。

ABC検査を導入する考えはないのか伺います。



村長 総合的な意味で調査研究をして、検討してまいりたいと思います。

200リットルを 防災倉庫へ備蓄

議員 先の6月議会
で、灯油の備蓄
に対する一般質問に対して
冬場近くになったら配備す
る、との答弁でしたが、何
リットル、どこへ配備する
のか、具体的な量と場所を
伺います。

村長 被災直後は3日
間程度ライフラ
インが遮断されることが想
定されますので、200リッ
トル程度を、役場防災倉庫
へ備蓄する予定です。

議員 もう少し多く備
蓄できないか伺
います。

総務課長 村の避難場所を
考慮した量で、
概ね、トラム缶1本分です。

村長の村政に対する 姿勢について

小倉 利一 議員

議員 幸福の科学固定
資産税について

「境内地は無制限ではない」という観点から、解釈と利用について伺います。

村長 県市町村課、顧問弁護士などと協議のうえ非課税とした。不定期であるが信者が瞑想を行っている。

議員 幸福の科学が当該土地を取得するとき、国土法による申請で、学校や病院、福祉施設の建設に利用すると記載しているし、計画書も提出されています。その部分に課税できなかったのか伺います。

村長 県、弁護士と協議のうえ、利用実態から非課税とした。

議員 栃木県那須にある幸福の科学学校施設を視察されましたか。また、同行者は。公務かプライベートであったか伺います。

村長 公務で、私と職員外の方が同行しました。職員は多忙なので同行しなかった。村で大事な幸福の科学との接触で公務と解釈しています。

議員 職員を同行しなかったことに何らかの意図を感じられてしまうのではないのでしょうか。

続いて、東日本大震災発生当日、災害対策本部設置後の村長の行動をお聞きしたい。

村長 捻挫したため役場2階公室のところで職員と一緒に指示、相談をしました。

議員 職員ほか、防災服を着用していたのに村長はスーツ姿に革靴でした。対策本部の士気に影響するのは、対応はマニュアルがあつてそれに

従つたのか伺います。

村長 マニュアルに従い副村長、総務課長と協議し、対応していました。

議員 幸いにして津波被害は少なかったが、村長として危機管理意識が希薄とを感じる。村民の生命財産を守る立場から、これに傾注して対策に臨むことを約束してほしい。

村長 肝に銘じてこれから仕事をしていきたい。

議員 昨年12月、違法性が問われていた附属機関が提起されて、活動凍結した機関があり、村政に影響しかねない事態も発生しました。早急に見直しを行い条例化するといいながら未だに解決しない。技術訓練校跡地利用も決定しないまま、今年度中に決着しなければならぬ。八積駅前整備についても、目前に迫っている。村長の考えを伺います。

村長 速やかに、手早く条例を提案させていた、だいて整理したいと思つています。

議員 野田村に支援物資を届けるのに、なぜ職員を同行させず、村長の個人的支援者であるボランティアといかれたのか。

村長 村の貴重なお金を使つたわけではなく理解していただけたかと思つていました。

議員 村費で物資も購入したはずで、このような形で出かけることは、公私混同と疑問をもたれても仕方のないこと。

「石井としお通信」に記載すべく計画された行為ではなかったのか。物資を提供された方に申し訳ないと思わないのか。

村長としての資質欠如と思ひます。



被害を受けた波乗り道路

附属機関に対する 違法性の認識は？

門口 昭 議員

議員

条例の根拠のない審議会等の委員へ報酬等を支給したことに対する、村長の違法性の意識の有無と責任対応について伺います。

村長

行政執行に携わる責任者として法律、条例等を遵守し、適正に行政運営をはかることが最も重要であると考えています。

しかしながら、地方自治法の解釈、運用を誤り、議会と関係者に大変迷惑と心配をかけていますので深く責任を感じ、早急に適切な取り扱いが出来るように整備をはかりたいと思います。

議員

石井としお後援会は、政治資金規正法に基づき届け出をしている政治団体であり、1、2、3条にはどのように謳われているか伺います。

村長

正しく言えないが現行の法律、公職選挙法に基づいて活動しなければならぬと思います。

議員

後援会は、プライベートな私的機関ではなく、村長と後援会の会員が政治目的や信条を同じくし、一心同体になり、「公約」を実現し活動をするならば後援もするし、規制もしますという「公的」機関である旨の法律です。

村長は、6月議会では深く反省しているとの答弁を議会にしているが、「公的機関としての後援会及び村長自身の内心においての見解は、前村長もやっていたこととであり、議会も決算等を承認しており責任がある、何よりも違法な公金支出を、議会をとおして村民に知らせたのが悪い」と言う様に、議会での答弁とは真逆の考えを抱いていると思われる

がその真意を伺います。

村長

後援会の事は内部のことなので差し控えます。

議員

村長の答弁と後援会の考えは同じでなければならぬ。

3月以来、違法な公金支出が表面化し議会で取り上げられてから、前村長や議会に責任を転嫁し、議員の基本的人権である参政権(議員として選ばれて活動する権利)まで侵害するような言動は控えるべきである。

村長

個人攻撃はしていません。

議員

制定が急がれる条例が制定されなければどの様な影響が出るか伺います。

健康推進課長

「健康づくり推進協議会」については、委員の委嘱も会議も開くことが出来ないと思っています。

議員

大変重要であるとのことですが。

3月以来、この問題が発覚してから、議会は時間を惜しまず特別委員会において調査研究をして、議会の監視機能を発揮し、助言し

ているし、また、職員の方々も一生懸命です。

村長及び後援会は意見を同じくするべきです。

条例に基づかず行政運営した機関は17機関ですから違法性の意識は強く持つべきです。

地方自治は、民主主義の小学校と言われるが、最後に所信を伺います。

村長

条例化せずに運営し、法に触れた部分があり村民に迷惑をかけたので、議会とも協議し新たな附属機関の設置をしていきます。

注

6月議会では、条例化されていない委員会などに対して、年間約60万円、過去に約50万円の税金を違法に支出していることを認めています。



自治会加入 推進について

小高 陽一 議員

議員

協働のむらづくりを進めるには、自治会活動の推進が欠かせないと思うが考えを伺います。

村長

地域でリーダーシップをとれる人、団体は自治会の方々であり、自治会の拡大、強化、推進を大切にします。

議員

過去10年間の自治会加入率を見ると、平成19年度を除き毎年減り続けています。その原因を伺います。

総務課長

昨年1月にアンケートをとりましたが、役員等の番が周ってくるのが煩わしい、加入

してもメリットがない、加入しなくても不便さを感じない、入会金や年会費が高い、これらが要因だと考えます。

議員

自治会への補助金を増やし、負担を軽減したらと思うがいかがか伺います。

総務課長

今後、煮詰めていく考えです。

議員

自治会加入者に一袋ずつ花の種を配れば、村内に花があふれ、加入意欲も出ると思うがいかがですか。

村長

貴重な意見として検討します。

議員

環境整備等の要望は自治会を通じて行なうことが原則と聞いているが確認します。

村長

原則自治会を通じて要望して欲しいと思います。

議員

村長が村内一軒一軒を訪問しながら要望を聞くことが自治会加入の妨げになっていると思いますがいかがですか。

村長

そういうことはないと思います。

長生村 自治会加入率 基準日 3月31日

年度	人口	全世帯数	加入戸数	加入率 (%)
平成22年度	14,876	5,376	2,906	54.06
平成21年度	14,930	5,432	2,948	54.27
平成20年度	14,974	5,398	2,990	55.39
平成19年度	15,020	5,253	3,141	59.79
平成18年度	14,996	5,256	3,002	57.12
平成17年度	14,960	5,153	3,020	58.61
平成16年度	14,848	5,077	3,078	60.63
平成15年度	14,888	4,932	3,218	65.25
平成14年度	14,778	4,815	3,208	66.63
平成13年度	14,595	4,700	3,155	67.13

他市町村	人口	全世帯	加入戸数	加入率 (%)
一宮町	12,519	4,791	3,862	80.61
白子町	12,685	4,753	3,339	70.25
睦沢町	7,609	2,594	2,453	94.56
長南町	9,521	3,154	3,136	99.43
長柄町	8,037	2,921	2,047	70.08
茂原市	93,579	37,977	25,634	67.50

平成22年4月22日調べ

八積駅周辺整備について

ついて

議員

八積駅前(南側)は、朝夕また雨天時、送迎の車で大変混雑し危険ですが認識しているか伺います。

企画財政課長

送迎の車の増加や駅へのアクセス

入道路の整備により、通過交通量の増加もあり、駅前が危険な状態であることは認識しています。

議員

駅前には郵便局や食堂もあり、整備して一時駐車帯を作れば解決できると思うがいかがか。

企画財政課長

一時的に交通緩和がはかれると思いますが、駅を一体的に利用する可能性を考えると駅北側整備が必要です。

議員

八積駅北側は非常に排水が悪く、これも早急な整備が必要です。駅を中心とした一体的なまちづくりを行いたいとのことです。国の交付金を待っているというところになるかわかりません。積立金もあり、年次計画を立て、南側の整備と北側排水路整備も可能と思うがいかがか。

企画財政課長

一体的に整備することが最善ですが、期間が長くなることも考えられるので、二度手間にならない方法で段階的な整備を検討します。

報告

議 会 活 動 の

議員の定例会以外の活動を報告します。

議員・職員合同研修会

8月19日、長生郡町村議会議員・事務局職員の合同研修会が開催され、来賓として衆参両院の国会議員や県議会議員をはじめ、各町村長が出席されました。研修会では、講師に衆議院議員の長島忠美氏を招き「東日本大震災からの復旧復興について」と題して、講演されました。長島忠美氏は、元新潟県山古志村長るとき、中越地震に遭い、不眠不休で震災復興の陣頭指揮を執った経験や教訓を話されました。「災害からの復旧・復興の主役は住民であり、復旧の原点は地域のコミュニティと絆にある」と力説され貴重な話を聞くことができました。大変有意義な研修会でした。



議員派遣視察

9月26日、3月の震災で大きな被害を受けた、香取市の液状化による被害状況を視察しました。水稲の作付不能面積は、農家の努力により、当初の想定より減少したものの面積で、337.4ha、収量で1890トンの減損額は約3億8千万円と想定。液状化は、1.53mの噴火口のように水を伴い、灰色の細かい砂を噴出し、筋状に一面に現れていました。27日は、栃木県那須野ヶ原戸田地区における、太陽光発電で水を電気分解し、水素を発生させ、燃料電池や水素エンジンに利用するシステムおよび、調整池に流入する水路の落差を利用した、水力発電を視察しました。今後、化石燃料に代わらない代替クリーンエネルギーとして期待されています。

第2回 議会報告会

村議会は、9月17日6時

半から文化会館ホールにおいて第2回議会報告会を開きました。議会は、「議会基本条例」で議会活動を住民の皆さんに説明する責務を定めており、住民に開かれた議会をめざしております。

このような活動の一つが議会報告会です。

開会あいさつを高山副議



長、主催者あいさつを中村

議長が行いました。

報告者は、総務・小高委員長、産業土木・片岡委員長、教育民生・阿井副委員長、議会改革・関委員長が行いました。

主な報告項目は以下のとおりです。

○総務常任委員会

「滞納整理のあり方に関する調査特別委員会」、「幸福の科学の土地課税問題」、「平成21年度一般会計予算は不認定」、「議会災害対策本部の設置について」

○産業土木常任委員会

「長生村の特産品である青のりの不作調査について」(所管事務調査)

請願の審査「地域の雨水排水対策を求める請願」(採択)「TPP交渉参加反対に関する請願」(採択)

○教育民生常任委員会

「任意採取ワクチンの効果および公費助成について」(所管事務調査)

「保育所条例の改正と延長保育・保育料の据え置き」、「待機児童の解消・私立幼稚園就園のための助成制度の要望・提言」

○議会改革特別委員会

「議事録検索システムの予算要望」、「福島県西会津町議会、宮崎県高千穂町議会からの視察」、「村の附属機関のあり方、何が違法かに審議中」

参加者からの質疑の 主なものを報告します。

質問 長生中学校の新築に当たり、屋上に避難施設をつくるように議会は意見を出さなかったのか。

回答 既に、設計が終わり、工事に入っており、やり直しは構造上大変で基礎からやり直しなどあり、やむを得ず当初計画通りとなりました。避難施設としては校舎3階のフロアは約標高15mあります。

質問 住民投票条例をつくるべきかどうかについて議論の考えをお聞きます。

回答 各議員は賛同する旨答える。

質問 健康診断の一部負担をなしにするほうが予防のためによいと思うが。

回答 検診の無料化については議会で統一見解はまだです。今後、調査を進めるなかで、議会としての一定の見解を定めたなかで、執行機関に要望したいと考えています。

質問 一松地区に避難用の建屋が必要と思うが。

回答 避難建物の計画は村としてまだです。

質問 森とか木とかいちばん葉っぱに放射能が落ちる



このことです。村でも葉っぱの調査をしてほしい。

回答 大変貴重な意見を頂きました。村に伝え調査するように求めます。

質問 一松地区の用排水事業について要望します。

回答 一松全域の用排水整備事業の要望のようですが、今後検討させていただきます。

質問 若い人もお年寄りも安心して暮らせる村を望みます。交通の便を良くして欲しい。

回答 少子高齢化が進むなか、子育て支援、高齢者福祉など行政上の課題です。費用対効果、村民の声を聞き村政に反映できるよう議会として努力します。

質問 脳トレ教室を卒業した自主団体の代表です。行事で予定したバスが調達できないで困る。3ヶ月前に申し込んでお下される。規約があるようですが、その内容はどのように決められるのか。

回答 村で手立てできる問題です。現状を調査し、教育民生の委員会でも調査させていただきます。

議会 日誌

*議長・議員が出席または参加の行事

29日	27日	20日	19日	10日	8日	4日	10月	28日	27日	26日	19日	17日	16日	15日	16日	15日	14日	13日	9月
津波避難訓練	議会だより編集委員会 千葉県町村議会議長会正副会長会議	議会改革特別委員会	議会だより編集委員会	第8回工コ・フエスタin千葉	長生中学校校舎落成式	議会だより編集委員会	議会改革特別委員会	広域決算審査特別委員会	視察研修（香取市・栃木県）	敬老ながいき祭り	第2回議会報告会	各保育所運動会	災害対策特別委員会	議会改革特別委員会	議会改革特別委員会	定例会9月会議			
7日	6日	2日	12月	26日	16日	15日	11日	10日	9日	9日	8日	6日	5日	4日	3日	1日	11月		
定例会12月会議	議会運営委員会	長生郡市負担金審議会	広域議会定例会	長生中学校創立五十周年記念式典	第55回全国議長大会	後期高齢者医療広域連合議会定例会	決算審査特別委員会	正副議長自治研修会	千葉県町村議会議長会定例会	文化祭	環境審議会	議会改革特別委員会	議会改革特別委員会	文化祭・産業まつり	後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	議会だより編集委員会			

皆さんも議会を傍聴しませんか!!

議会は、村民の皆さんの声を村政に反映させる場です。審議がどのように行われているのか、傍聴してみたいはいかがでしょう。

傍聴席は先着順で32席です。手続は、3階傍聴席入り口で、氏名・住所・年齢を記入してください。



次の「議会定例会12月会議」は12月7日（水）から開催の予定です。

また、議会だよりに対するご意見ご感想をお寄せください。お問い合わせは下記まで。

長生村議会事務局

直通：32-4744 FAX：32-1194

メール：taiyo-kun@vill.chosei.chiba.jp

編集後記

節電の夏も過ぎ、庭先の柿の実も色づき、日増しに秋も深まってきました。

今年は、東日本大震災をはじめ、各地では台風や集中豪雨等で大災害が発生して、多くの人命や財産が失われました。

幸い本村では大した被害もなく安心していましたが先の台風15号の影響により、完成間もない長生中学校校舎の屋根が飛ばされ、体育館の窓ガラスや屋根、近隣住居の屋根を壊すなどの事故がありました。幸い人的な被害もなく安心しました。

議会は、事の重大さを認識して、今後、このようなことが起きないよう対策を講じるために、事故原因の徹底究明と、責任を明確にするために「事故調査特別委員会を設置」し、早速調査に入りました。

「安全・安心」が叫ばれています。言葉だけでなく実効の伴った「安全・安心」であって欲しいと思います。